

第 2 回岩出町公共下水道事業運営審議会 議事概要

1. 日 時 平成 18 年 2 月 22 日 (水) 13:30~17:00
2. 場 所 岩出町役場 第 4 会議室
3. 出席者 会長他委員 8 名、事務局 3 名
4. 議 題
 - (1) 前回要求の資料提出について
 - (2) 諮問項目別の主な論点について
 - (3) 中間答申の骨格 (案) について
 - (4) 議事概要について
5. 会議形式 公開
6. 傍聴者 なし
7. 議事概要

司会者 開 会
下水道課長 挨 拶
会長 挨 拶

(1) 前回要求の資料提出について (事務局報告)

1. 下水道料金算定例の再説明について
2. 水道給水量の状況について
3. 他都市の受益者負担金事例について
4. 大規模団地の下水道料金や受益者負担金の考え方について
5. 大規模団地で既に負担金を払っている場合の取扱いについて
6. 国庫補助の対象範囲について
7. 排水設備改造への助成策の事例について
8. 合併浄化槽と下水道の特徴比較
9. 下水道普及促進策としての下水道貯金について
10. 井戸水を利用している場合の取扱いについて

(2) 諮問項目別の主な論点について

住民に運営審議会活動を知っていただくため、今回諮問されている「受益者負担金」「下水道使用料」「下水道普及促進策」のそれぞれについて、工事の住民説明会などでよく質問される内容を中心に論点案を事務局が提示し、中間答申へ盛り込むべき内容について審議。

中間答申に記載すべきかどうかも含めて次回再審議。

(3) 中間答申の骨格 (案) について

中間答申案の項目案や審議会の審議方針案、中間答申後のスケジュール等について審議。

(4) 議事概要について

第 1 回審議会の議事録概要を提出し、内容の確認後町下水道課ホームページへ掲載することにつ

いて事務局より依頼があり、了承。

8. 主な意見・質疑応答

質疑

事例紹介が近隣自治体を中心となっているが、料金設定する段階で参考にしようと思ったら、よく似た感じの人口や人口密度の自治体を参考にしないとわかりにくい。岩出町に近い自治体の計画や普及状況を踏まえた事例を出して欲しい。

事務局

計画規模が近い、あるいは比較的新しい自治体の事例を調べて資料を提出します。

意見

下水道計画人口が60,000人となっているが、今後人口が増えることが無いと思います。今の子ども達さん達が小学校を卒業してここの留まる可能性というのはおそらく少ないと思いますので、そのことも考えて下水道料金をよく審議していかないといけないと思います。

意見

事業認可区域内で既に合併浄化槽を使っている人が一番問題になってくる。なぜ今合併浄化槽がだめなのか、どうしてお金を出してまで下水道にしなくてはいけないのかを説明していかなくてはならない。

質疑

中間答申は本格的な審議の後で出すべきではないか。

事務局

住民の皆さんの間で、下水道料金、受益者負担金がこれから決まるということが余り知られておらず、下水道の情報がまだ行き届いていない。住民の意見を聞こうと思えば、いきなり答申ではなくて、中間答申という形で住民の皆さんに「これから、こういうお金が決まる」というのを知っていただいたうえで、意見を頂ければと思っています。

意見

下水道はどこの自治体でもアンケートを取ると一番になる。なぜ下水道が必要なのかということをもっと住民にPRして、知っていただくようにしなくてはいけない。町も下水道が必要と言っているのに、広報に大々的に載せたこともない。

次回提出資料

- ・ 岩出町に類似した下水道計画を持つ自治体の事例調査資料
- ・ 町内における合併浄化槽の普及状況
- ・ 住民の下水道要望状況

9. 次回日程

平成18年3月27日（月）午後1時30分より

10. 問い合わせ先 事業部 下水道課 電話番号 (62) 2141 内線 333